

## \*\*\* 今日の健康 (8月) \*\*\* < コロナワクチン3回目接種は必要か >

ファイザー社、モデルナ社の mRNA ワクチンなど多くの新型コロナウイルスに対するワクチンは、2 回接種によりほとんどの人に十分な免疫が形成されます。しかし、免疫抑制剤を服用している人や高齢者においては、免疫が不十分な場合もあります。また十分な免疫が形成された場合も、半年程度は維持されると考えられていますが、それ以上の長期に維持されるかどうかは現時点では不明です。

米ファイザーは7月28日、独ビオンテックと開発した新型コロナウイルスワクチン「コミナティ」の3回目の追加接種の有効性を示すデータとして、ワクチンの有効率が2回目の接種から4~6カ月後に83・7%に下がるとの研究結果を公表しました。3回目の追加接種ワクチンとしての緊急使用許可（EUA）申請などを8月から始めます。



このファイザー社による4~6月期決算発表の中で、3回目の接種により2回だけと比べて新規感染の主流になっている変異株「デルタ株」に対する抗体が、18~55歳の若年層で5倍、65~85歳の高齢者層で11倍多くなったことを明らかにしました。また、時間が経つとワクチンの効果が落ちていくとして「接種完了後、6カ月から12カ月以内に3回目の接種が必要になる可能性が高い」と公表しています。

ファイザーと独ビオンテックは7月8日にも、2回接種して半年経過した人に3回目の接種をしたところ、従来株や南アフリカで見つかったベータ株に対する抗体が5~10倍多くなることが確認できたと発表していましたが、これに反して、米疾病対策センター（CDC）と米食品医薬品局（FDA）は7月8日、「現時点では、ワクチン接種が完了した人に追加接種は必要ない」「必要かどうかや、いつ必要かを、科学的根拠に基づいた厳格なプロセスで検討している」と共同で声明を発表し3回目接種に慎重な姿勢を示しています。

モデルナも3回目接種向けのワクチンや、変異株に対応したタイプのワクチン開発に取り組んでおり、日本政府は今月、こうしたタイプを含めてモデルナと5千万回分の追加の供給契約を結び早ければ来年初頭にも供給されます。

イギリス政府は6月30日に70歳以上の高齢者、免疫抑制剤を服用している人、医療従事者や高齢施設従事者などを対象に、9月から3回目の接種を開始する可能性を検討していることを発表しました。

イスラエル政府は60歳以上の市民を対象に、米ファイザー社製新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種を8月1日から始めました。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861  
天文台通り もみじ山公園バス停裏